

## 令和3年度探究学習中間発表会

- 1 目的 (1) 探究学習の中間発表を行い、TA（ティーチング・アシスタント）の大学生から助言を頂く。  
(2) 論文作成およびポスター発表に向けた助言を頂く。
- 2 日時 令和3年11月2日（火）4、5時間目
- 3 場所 各教室
- 4 対象 1学年全生徒（282名）全70班（1グループ3～5名編成）
- 5 助言者 筑波大学の大学生および大学院生（7名）
- 6 内容 1学年の生徒を対象に、夏季休業中に実施したFW（フィールドワーク）の調査結果を踏まえ、現時点における探究学習の中間成果を発表しました。  
本校卒業の筑波大学の大学生・大学院生7名に助言者を依頼し、各班の発表に対して、オンラインでコメントを頂きました。  
生徒たちは、BYOD（キーボード付きタブレット端末）を活用して作成したスライドを用いて、約3分のプレゼンテーションに挑みました。大学生たちからは、各班の発表に対して自らの経験や大学で学んだ専門的な知識を基に、約2分の助言を頂くことができました。また生徒同士でもお互いの発表に対する感想や改善点などを共有するため、BYODを使って即時に意見を入力し、コメントをお互いに共有することが出来ました。  
今年度はコロナ禍による外出制限や臨時休校措置により、計画どおりにFWを実施できなかった班もあったようでしたが、WEBを利用したアンケート集計機能を活用するなど、例年よりも効率的にアンケート調査を実施できた班が多かったようです。  
生徒たちは、今回の発表会で明らかになった課題をもとに、年度末の探究学習発表会に向けて、研究論文の執筆と成果発表ポスターの作成に挑む予定です。



BYOD を活用しました



オンラインで大学生にプレゼン



オンラインで大学生から助言を頂く

### 7 大学生からの助言

・母校の後輩のために助言をする機会を頂き、大変光栄でした。自分達の在学時よりも、探究学習を頑張っているという印象をもちました。3月の探究学習発表会に向けて、更に良い研究へと深化させてください。

- ・研究テーマがSDGsのどの解決目標と合致してるか、再度確認が必要です。
- ・1班3分のプレゼンテーションをするためには、時間を意識した練習が必要です。写真やキーワードを効果的に使い、短時間に合わせたスライドの作り方を工夫しましょう。
- ・アンケートの調査結果は、調査母体数が少ないので信頼性に欠けます。公的機関が大規模に実施した調査結果を活用し、正確なデータを基に考察しましょう。
- ・クラスによってプレゼンテーションの完成度に差がありました。お互いに刺激を受けるためにも、フィードバックは、他のクラスのものも共有して参考にした方が良いでしょう。



感想をBYODで入力して生徒同士で共有



オンラインで大学生にプレゼン



オンラインで大学生から助言を頂く

## 8 生徒の感想

- ・大学生から助言を頂けたことはもちろん、自分たちが調べてきた内容をまとめる良い機会となりました。探究テーマ以外にも、スライドの作り方を助言して下さい、ありがたかったです。
- ・「中間発表をする」意義を明確にして臨めばよかったと思います。全体を見て説得力のある資料やデータが欠けていると感じました。最終発表会に向け、データ収集の時間を設けるべきだと思います。
- ・発表時間が少しオーバーしてしまったので時間を考えて進行していきたいと思いました。大学生からのアドバイスがとてもためになったので、それを踏まえて最終発表会をより良いものにしていきたいと思いました。
- ・前回のクラス内発表会の反省を活かし、各班それぞれ、スライドを見やすい色に直したり、発表内容をさらにわかりやすく、詳しくしたりするなど、色々な改善を行っていました。大学生の方々から頂いた助言をもとに、これからの各班の探究活動も頑張りたいです。とても良い発表会になりました。
- ・アンケートを行った班の中で、思うように結果が集まらなかった班もあったようです。そのような班には、もう一度アンケートを行い、多くの意見を集めてから、最終発表会に向けて準備を進めていきたいと思っています。
- ・探究委員会として司会進行を務めましたが、時間配分やセッティング等がうまくいかず、結果的に大幅な遅れを出してしまい、次の時間まで延びてしまいました。全体を見通す力や、予測能力といった、力を身に着けたいと思います。
- ・発表は、ずっと前から行ってきた実験をまとめたものなので、話し合いを重ね、スライドをまとめることが出来ました。前回の反省を踏まえて短くしたつもりでしたが、時間が足りませんでした。最終報告会はさらに内容が膨らむ予定なので、わかりやすく簡潔に内容を充実させたいと思います。
- ・大学生は私たち高校生よりテーマについて多方面から考えていて、もっと深く内容を掘り下げていく必要があると思いました。最終発表会では大学生から頂いた助言などをもとに、探究学習をより良いものとしていきたいです。